

第8回 奥武蔵伊豆ヶ岳

第1支部 榎乾商会
幹事 乾 洋介

平成13年12月22日(土) 快晴

暮れの忙しいときに“呑気にハイキングなどとんでもない”とお考えの方もおいでのことと存じます。はたまた、よりもよって、この寒い季節に山登りなんて正気の沙汰ではないとお感じの方は、至極まっとうな人と思う次第です。ゴルフ同好会の技術力、写真同好会の芸術性、東京探訪の知識欲と、どれをとっても持ち合わせない我がハイキング同好会は今回も奥武蔵の山へと暮れの忙しさもかまわず、真冬の寒さも顧みずに行ってしまったのであります。

伊豆ヶ岳の頂上で気温3度、風速は感じとして10メートルを超える強い北風でした。手袋をしないと指が凍え、皆の薄い顔の皮膚はしもやけ状態になっていましたと、ここまで書きますと、暇人が何を好んでこの季節に山になど行くのかと皆様はお考えのことと思います。

がしかし、実は冬のハイキングこそがハイカーの通なのであります。ふり積もった落ち葉を踏みしめ、澄み切った空気を吸い、ほほに感じる冷気は気持ちまでも引き締めてくれます。ふだんは緑の葉に覆われた木々も落葉し、木の枝こしに見る景色は冬ならではの解放感を与えてくれます。暮れともなると大掃除をさぼれるのも人気のひみつです。山好きのわたしなぞは一年中冬でもいいと思うくらいです。

あまり書くとうそくさくなりますので、今回のメンバーを紹介したいとおもいます。堀切塗料の長田さん、上田の原さんの奥様、今回初参加若林商店の若林ご夫妻、幹事の東邦化成の磯部さんとわたくし乾の6名です。

今回の山は奥武蔵の玄関口にあたる山で、西武線の正丸駅から往復3時間ほどの比較的楽なコースです。初参加の若林夫妻は多少疲れたようですが、あとの人たちには少し物足りなかつたかもしれません。

頂上直下で岩場の男坂コースとゆるやかな女坂コースに分かれているのですが、全員岩場の男坂コースを登って頂上に着きました。風の強い日でしたが展望は所沢の西武ドームから遠くは新宿の高層ビル群まで遠望でき、景色を満喫しました。

下山後は時節柄はたまた恒例の盛大なる忘年会を飯能駅の近くのお寿司やさんで開きました。原さんのご主人もいつものように合流し、温かいなべとお刺身、握り寿司と地酒ときたらもう止まりません。大変楽しい一時を過ごすこと

ができました。

いつもながら打ち上げの場所を捜していただいています原夫妻にあらためて感謝申し上げます。また今回、内田常務理事より金一封をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。お酒にビールに有効に使わせていただきました。

次回は春に予定しております。だんだん楽なコースをいきつくし、少なくなってしまった当同好会ですが、たまには長い距離を歩くのも、おつなもんだと思う昨今です。命まで奪いませんので皆様のチャレンジをお待ちしております。